



2025年10月14日

各 位

会 社 名 株式会社ジー・スリーホールディングス
代表者名 代表取締役社長 山元 秀樹
(コード番号：3647 東証スタンダード市場)
問合せ先 取締役経営管理本部長 高橋 龍馬
(電話：03-5781-2522)

**貸倒引当金繰入額及び特別損失の計上並びに
2025年8月期通期連結業績及び通期個別業績と前期実績値との差異に関するお知らせ**

当社は、本日開催された取締役会におきまして、2025年8月期決算において貸倒引当金繰入額及び特別損失を計上することについて決議いたしました。また、2025年8月期通期連結業績及び通期個別業績と前期実績値に差異が生じたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 当社連結決算における貸倒引当金繰入額及び減損損失の計上

当社連結子会社である日本グリーン油田開発株式会社が保有する債権3,940千円について、回収遅延が発生していることから、その回収可能性について慎重に精査を行った結果、同債権3,940千円全額について販売費及び一般管理費に貸倒引当金繰入額を計上することといたしました。

また、同社が2025年8月期末日時点において無形固定資産に計上している、菜種の生産に係る特許権4,427千円について、同社の経営成績と生産スキームの変更等について慎重に検討を行い、その全額について特別損失として減損損失を計上することといたしました。

2. 当社個別決算における貸倒引当金繰入額及び関係会社株式評価損の計上

当社連結子会社である株式会社ジー・スリーファクトリーに、当社が事業資金として貸し付けを行っている貸付金のうち、すでに引当金を計上済みの金額を除いた56,183千円について、その全額について特別損失として貸倒引当金繰入額を計上することといたしました。同社は、2025年7月30日付「当社連結子会社による化粧品の製造販売業許可申請に関するお知らせ」におきまして、同社企画によるオリジナル化粧品の製造・販売事業の開始について公表し、2025年9月4日付けで製造販売業許可を取得するなど、事業再構築の準備を進めているところですが、2025年8月期における事業計画とその進捗について、慎重に精査した結果、当社個別決算において、貸倒引当金を計上することについて保守的に判断したものであります。

また、今回、貸倒引当金繰入額及び減損損失の計上を行った日本グリーン油田開発株式会社の財務状況（純資産の減少）について精査を行った結果、当社個別決算において、当社が保有する日本グリーン油田開発株式会社の株式について、特別損失に関係会社株式評価損16,828千円を計上することといたしました。

なお、本件、貸倒引当金繰入額及び関係会社株式評価損の計上に関しては、いずれも連結決算においては相殺消去されるため、連結業績への影響はありません。

3. 通期連結業績と前期実績との差異（2024年9月1日～2025年8月31日）

	連結売上高	連結営業利益	連結経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前期実績（A）	百万円 259	百万円 △666	百万円 △680	百万円 △742	円 銭 △42.24
当期実績（B）	606	△299	△311	△315	△17.21
増減額（B－A）	347	367	368	426	
増減率（％）	134.1	－	－	－	

4. 通期個別業績と前期実績との差異（2024年9月1日～2025年8月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前期実績（A）	百万円 174	百万円 △676	百万円 △684	百万円 △752	円 銭 △42.79
当期実績（B）	585	△272	△279	△369	△20.13
増減額（B－A）	410	404	405	383	
増減率（％）	235.7	－	－	－	

5. 差異の理由

当社が販売用不動産として保有していた太陽光発電所1基について、2025年8月期において売却が完了したことにより売上高が伸長したこと、利益面においては、前期（2024年8月期）において棚卸資産評価損及び特別損失を計上していたことなどから、通期連結業績及び通期個別業績いずれも前期実績値との差異が発生したものであります。

以 上